

シスターフッド文学

図書館の特集コーナーで展示、貸出しています。

吉屋信子 少女たちを鼓舞し、少女たちに愛された作家 河出書房新社 2026

女性たちを励まし続けたシスターフッドの源流・吉屋信子。「花物語(抄)」「姉の幻影」などのアンソロジーをはじめ、作家や作品を知る著名人のインタビュー・エッセイ・論考、座談会等を収録。作品ガイドも掲載。

紅雀

吉屋信子著 河出文庫 2023

気高き美少女・まゆみと幼き弟・章一。両親を亡くした姉弟を待ち受ける、流転の運命！
柚木麻子の解説が秀逸



わすれなぐさ

吉屋信子著 河出文庫 2023

美しく我儘なクラス女王様・陽子と、彼女が想いを寄せる無口で風変わりな牧子、そして真面目で兄弟思いの硬派な一枝。女学校で繰り広げられる三角関係の行方は？



対岸の彼女

角田光代著 文藝春秋 2004

結婚する女、しない女、子供を持つ女、持たない女。立場が異なる女性たちの友情と軋轢を描き、直木賞に輝いた作品

てらさふ

朝倉かすみ著 文藝春秋 2014

北海道小樽在住の中学生・堂上弥子と鈴木笑顔瑠。中学1年の3学期、運命的に出会ったふたりは、「ここではないどこか」に行くため、手を組んで「仕事」をすることにした…。

銀の夜

角田光代著 光文社 2020

かつてバンドを組んでいた15歳の少女たちは35歳となった…。人生と本当に向き合い始めた大人女性の「生きる手応えとは？」を描いた長編。

2005年から2007年に雑誌に掲載され14年の時を経て2020年に出版された経緯をあとがきで著者が解説

らんたん

柚木麻子著 小学館 2021

明治、大正、昭和ー。女子学校教育の黎明期。シスターフッドを結んだふたりの女性が世界を変える。

一心同体だった

山内マリコ著 光文社 2022

1990年から2020年の平成30年史を背景に、10歳から40歳のそれぞれの年代の女子の友情が Rond 形式でつながる全8話の連作短編集。



オール・ノット

柚木麻子著 講談社 2023

「この宝石箱をあなたにあげる」苦学生の真央がバイト先のスーパーマーケットで出会ったのは、何でも売れる嘘つきのおばさんだった

照子と瑠衣

井上荒野著 祥伝社 2023

照子と瑠衣。ともに70歳。妻を見下す夫を捨て、老人マンションの陰湿な人間関係を見限って女性二人の逃避行の旅が始まった

カフネ

阿部暁子著 祥伝社 2024

弟を亡くした薫子と弟の元恋人せつな。食べることを通じて、二人の距離は次第に縮まっていく